

令和 8 年度新規課題公募説明会（第2回）

「令和 8 年度新規課題公募における行政要請研究テーマ（行政ニーズ）について」スケジュール

※当日の進行によって多少前後する場合があります。

開始	終了	グループ	領域	行政要請研究テーマ名	公募要領 別添資料 1 掲載No.	公募要領 別添資料 1 掲載ページ
13:00	13:10			概要説明		
13:10	13:14	①	統合	ネット・ゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブの統合的な実現を見据えた国民の環境意識・行動変容のメカニズム解析	1-1	p.19
13:14	13:18		統合	地域循環共生圏づくりを支える良好な環境の創出に係る多面的価値の見える化に関する研究	1-2	p.19
13:18	13:22		統合	有明海・八代海等における気候変動や社会経済情勢変化による海域環境・生態系への影響評価と対応策検討	1-3	p.20
13:22	13:26		統合	令和の里海づくりの推進に向けた自然科学と社会科学の統合的かつ学際的アプローチに基づく評価と実践に関する研究	1-4	p.20
13:26	13:30		統合	サンゴ礁生態系保全に向けた分布域変化に伴う影響把握、保全効果等の定量化、農地からの負荷軽減、並びに炭素固定技術の開発及び社会実装	1-5	p.21
13:30	13:34		統合	自然関連財務情報開示における環境影響低減等の変化量の迅速かつ精緻な評価手法開発に関する研究	1-6	p.22
13:34	13:43			質疑応答(9分:6課題)		
13:43	13:47	②	統合	持続可能な窒素管理に向けた窒素回収・脱炭素利用技術の開発・推進	1-7	p.23
13:47	13:51		統合	地方公共団体における災害・事故対応力強化のための情報基盤の充実と技術の高度化に関する研究	1-8	p.23
13:51	13:55		統合	アジアにおける水環境政策と水質汚濁対策技術に関する中長期ニーズの予測モデルの開発	1-9	p.24
13:55	13:59		統合	微細なマイクロプラスチックの採取・分析法の確立と既存データを活用したホットスポットの検討	1-10	p.24
13:59	14:03		安全確保	微細なマイクロプラスチックのモニタリング指標生物の選定につながる多様な生物種の影響評価方法	5-19	p.49
14:03	14:10			質疑応答(7分:5課題)		
14:10	14:14	③	気候変動	社会的・経済的受容性を踏まえた建築物の脱炭素化に資する技術の普及に関する研究	2-1	p.25
14:14	14:18		気候変動	地域における熱中症対策の効果検証及び災害時に有効な熱中症対策の分析及び研究	2-2	p.26
14:18	14:22		気候変動	水循環モデルを活用した気候変動適応効果及び生物多様性保全に係るシナジーの定量評価手法の開発	2-3	p.27
14:22	14:26		気候変動	超小型衛星による温室効果ガス排出源観測のための観測・解析手法の開発	2-4	p.27
14:26	14:30		気候変動	北極エアロゾルの観測と予測の統合による気候影響予測の高度化に関する研究	2-5	p.28
14:30	14:37			質疑応答(7分:5課題)		
14:37	14:41	④	資源循環	家庭系食品ロス削減対策の定量的効果検証に関する研究	3-2	p.29
14:41	14:45		資源循環	太陽光パネル由来のガラスの再生利用を阻害する物質の除去技術の開発	3-3	p.30
14:45	14:49		資源循環	廃棄物由来CO2の活用技術の研究開発	3-1	p.29
14:49	14:53		資源循環	PFAS含有廃棄物の適正処理に資するPFASの管理及び分解処理方法の検討	3-4	p.30
14:53	15:00			質疑応答(7分:4課題)		
15:00	15:04	⑤	自然共生	先端技術を活用したモニタリング手法の開発によるニホンジカ対策の効率化	4-1	p.31
15:04	15:08		自然共生	バットストライクの発生メカニズムの解明	4-2	p.32
15:08	15:12		自然共生	指定管理鳥獣の適切な管理に向けた科学的かつ効果的な政策の立案・実行のための調査研究	4-3	p.32
15:12	15:16		自然共生	三次元情報処理技術等を活用した効率的な登山環境保全支援技術の開発	4-4	p.33
15:16	15:20		自然共生	国立公園等における利用者負担の取組効果の評価を含む普及拡大手法の開発	4-11	p.37
15:20	15:24		自然共生	外来種の分布拡大最前線の地域及び未侵入地域等における早期対策推進のための初期侵入の検知技術、被害予測、定着地における効果的・効率的な防除手法の開発	4-6	p.34
15:24	15:33			質疑応答(9分:6課題)		
15:33	15:37	⑥	自然共生	陸水域の絶滅危惧種の保全に関する市民活動において実践可能な保全方法の開発	4-7	p.35
15:37	15:41		自然共生	世界自然遺産小笠原諸島における異種間共進化の過程解明	4-8	p.35
15:41	15:45		自然共生	西之島等の人力調査困難地域における自然環境の長期・無人調査技術の開発	4-10	p.36
15:45	15:49		自然共生	生物多様性情報学を基礎とした全国的なネイチャーポジティブ統合指標の開発	4-9	p.36
15:49	15:53		自然共生	全国レベルでの野生生物の遺伝的多様性に関する経年トレンドの評価手法の開発	4-5	p.33
15:53	15:57		自然共生	阿蘇草原等の半自然草原における生物多様性保全と気候変動対策の両立に向けた研究	4-12	p.38
15:57	16:06			質疑応答(9分:6課題)		
16:06	16:10	⑦	安全確保	スクリーニング分析法等の活用による、効率的かつ持続可能な新たな環境監視体系の構築と一体的な環境リスク管理	5-17	p.47
16:10	16:14		安全確保	水源から蛇口の水まで、農業類の一体的なリスク管理	5-18	p.48
16:14	16:18		安全確保	酸化エチレンの濃度低減に資する大気中動態把握及び濃度推計モデルの構築に関する研究	5-10	p.43
16:18	16:22		安全確保	内分泌かく乱作用に係る影響指向型解析手法の確立に向けた研究	5-4	p.39
16:22	16:26		安全確保	環境中の医薬品が魚類の行動、繁殖等に及ぼす影響の評価手法に関する研究	5-5	p.40
16:26	16:30		安全確保	環境水及び排水中の新たな衛生指標等の確立に関する研究	5-6	p.41
16:30	16:39			質疑応答(9分:6課題)		
16:39	16:43	⑧	安全確保	適切な花粉飛散情報発信のための研究開発	5-7	p.41
16:43	16:47		安全確保	大気常時監視測定網のための新しい技術（簡易測定の前用や衛星観測の利活用等）の開発	5-8	p.42
16:47	16:51		安全確保	睡眠影響に関する騒音暴露量と再現性のある客観的な心理・生理反応関係の構築	5-9	p.42
16:51	16:55		安全確保	悪臭防止に資する嗅覚測定法の改善に向けた研究・技術開発	5-20	p.50
16:55	16:59		安全確保	大気中の粒子状物質・光化学生成物質に関する時間・空間分解能が高い動態把握及びシミュレーションの信頼性の向上	5-11	p.44
16:59	17:03		安全確保	陸域からの汚濁負荷量の精緻化に向けた農地等の面源における推定汚濁負荷量の算定手法の開発	5-12	p.44
17:03	17:07		安全確保	自動車騒音の大きさの許容限度見直しのための効率的・効果的な道路交通騒音予測モデル構築技術の開発	5-13	p.45
17:07	17:16			質疑応答(9分:7課題)		
17:16	17:20	⑨	安全確保	よりの確な人健康リスク管理に資する土壌環境評価手法の検討	5-14	p.46
17:20	17:24		安全確保	良好な環境の創出のための土壌の公益的機能に係る評価指標及び評価手法の開発	5-15	p.46
17:24	17:28		安全確保	PFASの製造・使用・排出実態に基づく、物性・環境動態を考慮したモデル予測等を用いた挙動解明と対策手法	5-16	p.47
17:28	17:32		安全確保	ヒューマンバイオモニタリング（HBM）の高効率化に向けた分析および解析方法の開発	5-1	p.38
17:32	17:36		安全確保	化学物質による健康影響に係る地域診断および疫学研究支援手法の開発	5-2	p.39
17:36	17:40		安全確保	バイオアッセイを用いた環境中における影響の実態把握からその原因物質の特定までの包括的研究	5-3	p.39
17:40	17:49			質疑応答(9分:6課題)		
17:50				閉会		